

建築主：須藤浩孝  
 設計：株式会社デ・スタイル建築研究所  
 施工：白井興業株式会社  
 所在地：千葉市稲毛区

安らぎのある暮らしをめざして

## Example-House



ファサード夜景 (撮影/中村 絵)

敷地は住宅が密集した千葉市稲毛区にある。敷地の北西と南東の2面は道路、北東と南西は隣家という矩形の立地の中、『室内の通風と採光条件を高め』『道路からの視線を遮ること』で、安らぎの暮らしを可能とした住宅である。

両道路の視線高さの開口部は北西の玄関ドアと南東の地窓のみ。玄関はデザインされたガラス張りのポーチを介することで、直接道路と接しないよう工夫されている。対照的に南東道路のトップライトの2つの窓があたかもカエルを模したかのような特徴的な外観である。

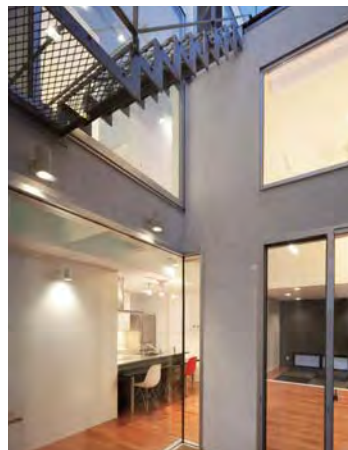
断面計画は断面の階層レベルをずらすことで各部屋への通風・採光を確保すると共に、どこにいても家族の気配が感じられる空間構成となっている。また、1階に中庭(リビングテラス)、中2階にルーフバルコニーの外部空間を挿入することで建物全体が開放的で快適な空間となることを実現した。さらに、2階の寝室と子供部屋を結ぶ廊下(ブリッジ)床をガラスにしたことで、ルーフバルコニーからの光を1階まで落とすことができると同時に1,2階間の視線もほどよく通る。そして何より、ガラスブリッジを渡るの臨場感もあって楽しい。

平面計画はどこにも無駄なスペースがなく、プライベートとパブリックの動線計画、家事動線、収納計画、お子様の成長する将来計画まで綿密に練られていた。

明るくお迎えくださった建築主の奥様はこの家をこよなく愛し、家族全員が隅々まで使いこなしていることが感じられた。真摯な設計者との連携で完成したこの家に好感が持てたと同時に文化賞にふさわしい、完成度の高い住宅であると感じた。(藤本 香)



コートからリビング



コートとルーフバルコニーへの階段